

顔

第9期OB 渡邊 光平

「含蓄のある顔だね」と、言われたことが過去に2度ばかりあります。クラスの女子達の間でどの男子が醤油顔なのか、ソース顔なのかといった議論に出す顔がない程度に特徴のなかった僕にとって、それが褒め言葉なのかどうかはともかく、少なくとも顔についてのコメントを得られたという意味で非常に意義深かった瞬間として記憶しています。

40 を過ぎたら自分の顔に責任を持つという言葉がありますが、僕が自分の顔に責任を持つにはまだ 15 年の猶予があるようです。では 15 年前の僕がどんな顔をしていたか、参考画像左上の無垢な少年をご覧ください。右下が最近時の僕です。誰もが、自分だけは幾つになろうが外身も中身も変わらないよと強がってみるものですが、両者を見比べてみればなるほど、無常の意を痛感することかと思えます。

さて、こうして自身の証明写真遍歴を眺めてみると、ああ過去の自分のなんとイケてないことよ。少なくともアルバイトや就職活動を成功させたいという想いから、その時々で一番イケてる服を着て、一番イケてる髪型にセットし、一番イケてる顔をしているはずなのに何これ。そもそも僕自身がフォトジェニックなのかどうかはさておき、青かったなあと、失望させられます。しかし同時に、この過去の自分への失望こそが大人になるということなのではと、それらしい示唆を得ることができたところでまた来年。



証明写真遍歴（写真は全て著者）